

特集 登別地獄まつり半世紀



▲鬼みこし（第1回登別地獄まつり）

今年で50回目を迎える『登別地獄まつり』が、8月23日(金)～25日(日)に開催されます。

登別温泉の誘客宣伝の柱となる大型観光祭りとして、昭和39年に初めて開催されてから半世紀。今では、登別温泉の夏のイベントとして全国に知られ、登別温泉の発展にも大きく貢献しています。

今号では、『登別地獄まつり』半世紀の歴史などを紹介します。



▲第1回登別地獄まつり

登別地獄まつりの先駆け 温泉祭りの開催

昭和24年、登別温泉を含む地域が『支笏洞爺国立公園』に指定されました。

国立公園の指定を契機に、昭和26年7月、『温泉祭り』が開催され、スポーツや踊り、歌謡大会、花火大会など、多彩な行事が昼夜の別なく3日間繰り広げられました。

そして、この祭りが現在の『登別地獄まつり』の先駆けとなりました。



▲温泉祭り仮装行列

第1回登別地獄まつり 開催

昭和39年9月4日から3日間、登

登別地獄まつり豆知識

鬼みこし

登別地獄まつりの名物となっているのが重さ1トンの『鬼みこし』。第1回から第12回までは、祭りのたびにみこしを作成していました。現在のみこしになったのは、昭和51年の第13回からです。

みこしは、祭り期間以外はJR登別駅前鎮座し、観光客を歓迎しています。

また、平成7年には、みこしがハワイフェスティバルに招待され、海を渡りました。



▲鬼みこし暴れねりこみ

鬼踊り大群舞



▲鬼踊り大群舞

第1回から行われている『鬼踊り大群舞』。温泉の湯気や鬼の角など、登別温泉の象徴的なものを表した覚えやすい振り付けに、最初は治道で眺めている観光客も『地獄ばやし』と太鼓に合わせ、市民と一緒に楽しく踊ります。

自由なテーマで仮装し『鬼踊り大群舞』に参加する『仮装鬼踊りコンテスト』も行われ、ユニークな仮装を身にまとい踊る参加者に、治道から大きな声援が送られます。

閻魔大王からくり山車

『閻魔大王からくり山車』は、平成5年の第30回から登場し、善人には慈悲の顔で天国を示し、悪人には憤怒の顔で地獄への審判を下します。山車は、幅4m、長さ8m、高さ6mで、大音響とともに目が光り、牙をむき出し、真っ赤な口を開き、腕を振り上げます。

祭りが終わると閻魔堂に安置され、定刻になると『閻魔大王』のからくりが動き出します。

過去には、閻魔堂の前で結婚式が行われたこともあります。



▲閻魔大王からくり山車

別温泉の新しいイベントとして、第1回目の『登別地獄まつり』が開催されました。

それ以前の登別温泉の祭りは、『温泉祭り』や『観光祭り』など、そのときどきの情勢によって開催されましたが、なかなか定着しませんでした。

そのため、昭和38年、登別観光協会の総会で、誘客宣伝の柱となる大型観光祭りの開催が提案され、新たなイベント『登別地獄まつり』が開催されることになり、この祭りの成否が、登別温泉の将来の発展を占うものとして期待されました。

第1回目の登別地獄まつり開催日は、静かだった登別温泉街に太鼓の音が響き、『鬼みこし』や『鬼踊り大群舞』などに大勢の観光客が参加し、登別温泉街はにぎわいを見せました。

3日間の入り込み客は約1万3千人。初回の祭りとしては、まずまずの成功を収め、関係者をほっとさせました。

以来、『登別地獄まつり』は、登別温泉の夏祭りとして定着し、全国的にも有名になりました。

平成16年の第41回から祭り期間が2日間に短縮されましたが、昨年は約6万1千人の方が訪れ、祭りを楽しみました。

市民の皆さんの熱意 で迎えた半世紀

昭和39年に第1回目の登別地獄まつりが開催され、今年で半世紀という節目を迎えることができました。現在では、北海道を代表する夏祭りとして全国にも知られ、毎回5万人以上の方が訪れるまでに成長しました。

祭りを続けることができたのは、何れ月も前から準備や運営に携わっている多くの市民の皆さんの熱い思いがあつたことと感謝しています。そして、皆さんの熱意は、まちづくりにとつても掛け替えのない大切な財産です。

市民の皆さんに親しまれる温泉でありたい

登別市は、登別温泉やカルルス温泉など、全国的にも有名な温泉を抱え、豊かな自然環境にも恵まれていることから、年間約300万人の観光客が訪れる日本有数の観光地として知られています。

登別観光協会では、以前から、全国に誇るこの登別温泉がもつと市民の皆さんに親しまれる温泉でありたいと考えています。

平成23年度から、市・登別市連合町内会・登別観光協会が連携して

『登別地獄まつり半世紀記念事業』が実施され、多くの市民が鬼踊り大群舞に参加したり、町内会行事で登別温泉など市内の温泉ホテル・旅館を利用したりしています。

また、登別観光協会でも、市民の皆さんに登別温泉にもっと愛着を持ってもらおうと、今年から子どもとその保護者による『鬼っこボランティア』を始め、登別温泉街での花植えなどを行っています。

一人でも多くの市民に、登別温泉の魅力を感じてもらい、応援団になっていただければうれしいですね。

第50回登別地獄まつり ぜひお越しを

今回の祭りは、日程を3日間に拡大し、『Music&Food Fest 2013』として、登別ブランド推奨品や登別牛の販売、歌手・植村花菜さんのオンステージ、和太鼓フェスティバルなどを繰り広げます。

登別地獄まつり半世紀をきっかけに、次の50年に向けた新生・登別温泉のスタートにするともに、今後市民の汗と知恵を結集し、地域に欠かせないふるさとの祭りとして育てていきたいと思えます。

ぜひ、ご家族・ご友人とお誘い合わせの上、市民の皆さんのお越しを心からお待ちしています。



登別観光協会

会長 唐神 昌子さん

登別地獄まつり半世紀を次の50年に向けた新生・登別温泉のスタートにしたい

8月23日(金)～25日(日) 第50回登別地獄まつり

申し込み・問い合わせ
登別観光協会
(☎84) 3 3 1 1)

▶場所 登別温泉街（極楽通りほか）、地獄谷展望台

▶プログラム（予定）

日時	内容
8月23日(金)	14:00～18:00 地獄まつり前触れ
	18:00～19:30 オープニングセレモニー、登別小学校オニッコマーチングバンド、閻魔大王からくり山車
	20:00～21:00 前触れ太鼓
8月24日(土)	21:00～21:30 地獄谷花火大会
	11:00～17:00 music&food fest2013
	13:00～15:30 和太鼓フェスティバル
	13:00～16:30 おにっこ通り（縁日、ぬり絵、ちびっこ鬼踊り、写真展など）
	18:00～18:30 閻魔大王からくり山車
	18:40～19:30 鬼みこし暴れねりこみ
	19:40～20:20 前触れ太鼓
8月25日(日)	20:40～21:30 鬼踊り大群舞、仮装鬼踊りコンテスト
	21:30～22:00 閻魔大王からくり山車
	11:00～17:00 music&food fest2013
	12:30～ 調理師会『地獄鍋』300食無料提供
	13:00～15:30 和太鼓フェスティバル
	13:00～16:30 おにっこ通り（縁日、ぬり絵、ちびっこ鬼踊り、写真展など）
	18:00～18:50 閻魔大王からくり山車
	18:55～19:40 鬼みこし暴れねりこみ
19:40～20:15 前触れ太鼓	
20:35～21:15 鬼踊り大群舞	
21:30～ 地獄谷花火大会	

参加者募集

仮装鬼踊りコンテスト

▶日時 8月24日(土)20時40分～21時10分
(審査発表21時10分～30分)

▶参加条件 鬼踊り大群舞に参加し、鬼踊りを踊ること（個人・団体を問いません）

▶申込方法 当日17時30分から19時までに登別観光協会前受付で申し込みし、ゼッケンを受け取ってください

※申し込みとゼッケンのない参加者は、審査対象外となります。



閻魔大王からくり山車運行行列

▶月日 8月24日(土)

▶対象 18歳以上の方（高校生を除く）

▶定員 10人（申込順）

▶申し込み 8月15日(木)までに登別観光協会

鬼踊り練習会

▶日時・場所

8月7日(水)13:00～14:30 鷺別公民館

8月8日(木)10:00～11:30 婦人センター

8月15日(木)13:00～14:30 登別温泉公民館

8月16日(金)10:00～11:30 市民活動センター

※当日、直接会場へお越しください。

この特集に関する
問い合わせは
観光振興
グループ

☎84) 2018

FAX84) 2519

Eメール: spa@city.noboribetsu.lg.jp



▲海老名市イメージキャラクター『えび～にゃ』

▼問い合わせ 登別市姉妹都市等都市間交流協会事務局（総務グループ内 ☎84) 1130)

▼日時 8月24日(土)・25日(日)12時～20時

第50回登別地獄まつりの会場・極楽通りで、昨年好評だった『かながわ名産100選』の『吟味豚』や、おいしい焼菓子などの特産品を販売します。

『2013かながわ海老名市物産展in登別地獄まつり』にお越しください